

平成28年度 アジェンダ21すいた 事業活動報告

1 フラグシッププロジェクトの推進

1 事業内容

昨年度までのフラグシッププロジェクト「歩きたくなるまちづくり」に代わり、「すいた地球温暖化防止実践デー」を実施した。

新しいプロジェクトとして、地球温暖化防止のために「すいた、わたしのエコ宣言」をスタートさせた。これは、市民の皆さま一人ひとりが自ら自己宣言文を紙に書き、それを写真に記録していこうとするものである。後藤圭二市長やガンバ大阪の選手 9 人にも宣言してもらい、約400人分に達した。平成29年2月18日（土）には、市内大学の多くの学生さんの協力を得て、エキスポシティで行うイベントでその成果を公表した。

様々な環境問題があるが、解決の根本は一人ひとりの「ライフスタイルを変えていくこと」にあると考えている。

この取り組みは、「市民の皆さま一人ひとり、企業の皆さま一社一社が環境に優しい活動を取り組んで下さる」そのような輪を広げ、全国で一番、環境実践行動に取り組むまちとなっていく、そのお手伝いができればとの願いからスタートしている。

1-1 ABCハウジング 住まい祭典にて

平成28年10月16日（日）、平成29年1月9日（土）、住宅展示場・千里住宅公園のイベントに、吹田市が参加した。

市との協働取組として、「アジェンダ21すいた」の資源部会・エネルギー部会が、「暮らしとエネルギー」をテーマに「廃油を使ったエコキャンドル作り」を出展し、そのブース横で、キャンドル作りをしてくれた親子連れにエコ宣言をしてもらった。



1-2 市立吹田サッカースタジアム

平成 28 年 10 月 29 日（土）、市立吹田サッカースタジアムにて開催された Jリーグのガンバ大阪対アルビレックス新潟戦のハーフタイムに、グラウンド上で地球温暖化防止の啓発パフォーマンスを行った。

当日の入場者は 2 万 6 千人。大観衆に対し大きく PR するとともに、また行進の様子が当日の NHK 総合での試合中継に偶然にも放映され、広くアピールすることができた。この日も、スタジアムの外でブースを拝借し、市内の大学生の協力を得て試合を観戦しに来た方々にエコ宣言してもらった。



1-3 母子会まつり

冬の寒さも少し緩んだ、平成 29 年 12 月 17 日（土）、吹田市文化会館（メイシアター）とメイシアター前のいずみの広場で「吹田母子会まつり」が開催された。会場の片隅をお借りして、「すいた、わたしのエコ宣言」撮影会をすることにした。

手作りの品や吹田野菜の直売、バザーにすいとん、舞台発表、お目当てのものを求めて、ひっきりなしに会場を訪れる方々に「エコ宣言しませんか～」と声をかけていった。

ガンバ大阪の選手たちが勢ぞろいした「STOP! 地球温暖化」のパネルが目を引き効果的だったのか、はたまた声かけがよかったのか、極めつけは、ガンバ大阪の選手たちの写真が入った「Wリボンプロジェクト in すいた 2016」と「STOP! 温暖化。」のコラボクリアファイルを限定プレゼントします、がよかったのか、たくさんの方が快く写真撮影に応じてくれた。ご自身が約束できることを、「エコ宣言」パネルの中から選んでもらい、胸の前に掲げてもらって写真撮影した。



1-4 ストップ！地球温暖化 くるくるウィンターフェスタ

平成29年2月18日（土）、ららぽーとEXPO CITY「光の広場」で吹田市・アジェンダ21すいたと（公財）千里リサイクルプラザが共催で開催した。

本イベントに向けて、これまで集めてきた写真にエコに関するメッセージを織り交ぜた動画「エコ宣言ムービー」を作成し、広場にある巨大スクリーンにて上映した。この映像を観た方にも、環境に負荷のかからない生活様式が広まることをねらいとしている。

来場された方々にも、身近にできるエコな取り組みを宣言する「すいた、わたしのエコ宣言」に参加してもらったり、省エネに関する問題を解く「クイズで発見！エコクイズ」に挑戦してもらった。この日を機に、市民の皆さま一人ひとりが、環境に配慮したライフスタイルを心がけてくださることを願っている。

本イベントでは、リコージャパン株式会社の社員等による社会貢献クラブ「FreeWill」から寄付金を賜った。また、地域の大学生とも連携し、大阪学院大学・大阪学院大学チアリーダー部、大阪大学、関西大学の学生に、オープニングの司会やブースの運営を担ってもらった。



【参加者：1,500名

（『平成28年度（2016年度）公益財団法人 千里リサイクルプラザ 事業報告書』より）

スタッフ：63名】

2 実施評価及び課題

エコ宣言の撮影にご参加いただいた方は、約400名、くるくるウィンターフェスタへの来場者は1,500名であった。来年度も引き続き、エコ宣言を収集していく方向性である。

今年度は、個人を対象にしていたが、事業者にも協力してもらえるよう企画を進めていきたい。

また、来年度は、フラグシッププロジェクトのテーマに、食品ロスの発生抑制としてフードロス削減の活動を実施することも検討したい。

2 全体事業

(1) CO₂ダイエット学校版プロジェクト

1 事業内容

「アジェンダ 21 すいた」は、吹田市との協働事業として「暮らしのCO₂ダイエット」を作成し、省エネなど市民のライフスタイルを変える取組みを進めてきた。そして、未来を担う児童生徒が、学校で地球温暖化を学び実践することが大事と考え、新たに「すいたんのエコライフチェック (CO₂ダイエット学校版)」を企画し、市域全体の学校に拡げていこうと検討した。

将来的には、市内の全小学校で温暖化防止の実践的な授業が行われることで、温暖化防止の行動が市域全体に浸透していくものと期待している。

1-1 環境担当者会議で説明会を実施

平成 29 年 5 月 1 日 (月)、吹田市男女共同参画センターで小中学校の環境教育担当者会議が開催された。エネルギー部会が出席して、CO₂ダイエット学校版の概要や意義について説明したが、なかなか取り組みに対して理解を得ることが難しかった。個々の学校へのアプローチに切り替えて進めていく。

1-2 小学校への依頼

CO₂ダイエット学校版、実施校を増やす方針で進んできた。しかし、過去に実施した吹田市立吹田第一小学校、千里丘小学校、豊津第二小学校の事後フォローもなく、昨年度の環境担当者会議で集約したアンケートで興味を示した吹田市立吹田第二小学校、千里だけみ小学校へのアプローチを試みたが、反応がなく実施に至っていない。

平成 29 年 5 月 15 日 (月)、吹田市立千里新田小学校の有明校長を訪ね CO₂ダイエット学校版の説明をする。行うのであればエコクラブ(小学校における課外活動)がないので、環境授業として扱ってもらおう。エコクラブのある学校はクラブで実施して貰うように個々の学校に交渉していく。

ずっと すみたい地球 わたしたちが 地球を救うんだ！

すいたんのエコライフチェック

地球温暖化によって地球の気温はだいたい上がっており、異常気象による災害や自然環境の破壊が進んでいます。

この地球温暖化を防止するためには、みなさんが家でもとにも毎日の暮らしの中でエネルギーの無駄使いをやめ、二酸化炭素(CO₂)を減らす「行動」(エコライフ)をとることが大切です。

「すいたんのエコライフチェック」を使って、地球をみんなで救っていきましょう！

おうちの人と相談しながら取り組んでみてね！

変わり始めている地球の気候

★地球温暖化のしくみ

地球の空気のなかの二酸化炭素などは温室効果ガスといって、太陽からの熱をこもり、地球の温度を高める働きをします。とくに、化石燃料(石炭や石油、天然ガスなど)を燃やすと、二酸化炭素がたくさん発生します。

みなさんのお父さんお母さんの年齢になるころ、2050年の地球の人口は、現在の70億人が90億人あまりにふえ、地球一人ひとりがつかう化石燃料の量がふえて、地球全体での二酸化炭素の排出量もとてもおおくるといわれています。

世界の二酸化炭素排出量 (千トン/年)

1750 出典) IPCC第5次評価報告書WGIII Fig. TS2

太陽 太陽光 地球 熱 温室効果ガス 宇宙へ

温室効果ガスがおおいと熱がこもって地球があつくなる

2 実施評価及び課題

今年度、実際に小学校で授業を実施する、宿題として取り扱ってもらい、エコクラブで題材にしてもらうといった活動へはつながらなかったが、来年度以降も交渉を進め、市域へ広げていくように努める。

(2) 地球温暖化問題プロジェクト「すいた地球温暖化防止実践デー」

1 事業内容

本プロジェクトは、フラグシッププロジェクトとして実施した。

(3) 市内環境団体との連携・交流

1 事業内容

1-1 すいた環境教育フェスタ 交流会

すいた環境教育フェスタの前日、平成29年2月3日(金)、準備日のため短時間であったが、すいた環境教育フェスタの運営委員である市内環境団体と企業、10団体、21名による交流会を「アジェンダ21 すいた」主催で実施することができた。

この交流会の趣旨は、運営委員会で顔を合わせていても、なかなか交流する機会がなく、すいた環境教育フェスタ当日も、各団体のブースの運営に時間を取られて、他団体が何をしているのか、分かり合えないでいる。そこで、せっかく環境を切り口に集まった団体なので、活動の分野や、すいた環境教育フェスタでの展示あるいは体験イベントの内容を説明してもらって、当日は自分のところだけではなく、各団体の展示も見て回り、理解を深めようということだった。

「前日に交流会があって良かった。」「各ブースを回って深く交流できた。」などと好評であった。今後、顔なじみになり、声かけがしやすくなったことで、交流会の成果があった。

1-2 アジェンダ21 すいた会員交流会

平成29年4月2日(日)、すっきりと晴れ渡った青空のもと、座敷や土間などを昔の状態に復元されている吹田歴史文化まちづくりセンター(浜屋敷)をお借りして、初めての会員交流会を開催した。

参加者は幹事、事務局、一般会員合わせて20名とこじんまりした集まりとなったが、和気あいあいとした雰囲気でもよかった。初めてお会いする方々もいらっしゃるので、



一人1分スピーチで自己紹介や近況報告をした。

(4) エコツアー及び市内企業・事業所における環境への取組勉強会の実施

事業内容

大阪市平野下水処理場見学の詳細は、【エネルギー部会】(1-4 自然エネルギーの勉強会と水素エネルギーのセミナー)に記載。今後、フラグシッププロジェクトまたは各部会で実施することになった。

(5) ニュースレターの発行

事業内容

会員への情報提供及び市民への環境保全活動の普及を目的に、年4回(平成28年7月、10月、平成29年1月、4月)発行した。

(6) エコプレス

事業内容

「暮らしのCO₂ダイエット」参加者等を対象に、環境情報のツールとして、年4回(平成28年7月、10月、平成29年1月、4月)を発行した。取材・編集は、関西大学良永ゼミの学生の皆さんが行っている。

アジェンダ21すいた 第39号
平成28年7月29日発行

「アジェンダ21」とは「21世紀への課題」という意味です。「アジェンダ21すいた」は、市民・事業者・行政が力を合わせて、持続可能な社会の実現を目指すパートナーシップ活動です。

CONTENTS

- アジェンダ21すいた定時総会開催・・・・・・・・・・1
- 動物写真展「小樽鈴さんによる講演会も同時開催!!」
「流水からの伝言～アザラシの赤ちゃんと地球温暖化～」
- みどりのカーブン講座・・・・・・・・・・2
- 高知市の自然エネルギー：建築地盤関係の会・・・・・・・・・・3
- エコ・ツアー「嵐月野鳥観察」・・・・・・・・・・4,5
- 生物多様性シンポジウム・・・・・・・・・・6
- エコな夜食・・・・・・・・・・7
- イベント案内・・・・・・・・・・8

アジェンダ21すいた定時総会開催!

平成28年度「アジェンダ21すいた定時総会」を、7月9日(土)、千堂山コミュニティセンターにおいて、開催しました。

総会第1部では、議案の審議と講演会が行われました。活発な議論が行われ、全ての議案が賛成多数で承認されました。

第1号議案	平成27年度事業活動報告承認の件
第2号議案	平成27年度収支決算書承認の件
第3号議案	平成28年度事業活動計画承認の件
第4号議案	平成28年度の女子員会承認の件

動物写真展「小樽鈴さんによる講演会も同時開催!!」
「流水からの伝言～アザラシの赤ちゃんと地球温暖化～」

<流水の異変>1992年では、見渡す限り広がっていた流水が、地球温暖化の急速な進行により、2007年にはポロ氷口になった流水の奇異を観ました。この年生まれた赤ちゃんアザラシの約75%は、溺死したといわれているそうです。アザラシの天敵であるシロクマは、近い将来絶滅するのではないかとこのことでした。

<感性を研ぎ澄まし、ずっと考え続けること>地球温暖化に対して、どうしたらいいのか。それは「人間と自然が共生すること。共生とは「自然が何を求めているか考えること、知ること」である。今、私たちができることは、100点満点の答えではないけれど、ずっと考え続けることしかない。このことが流水の異変から学んだことだ、と小原さんは締めくくられました。

第2部では、懇親会が開催され、会員同士や一般参加による市民の方々の交流が行われました。後継主市農もお見えになりました。(池岡 直知子)

エコプレス 4月号
平成28年4月15日発行

暮らしのCO₂ダイエットエコニュース

発行：アジェンダ21すいたエネルギー部会
編集：関西大学後援ゼミ

みなさん、こんにちは。後援ゼミ新刊誌です。春鳥の心もよみ季節になりましたね。先輩達が手掛けてきたエコプレス-いよいよ本誌への担当がやってきました。これから一冊、どうぞよろしくお楽しみ願います。さて、本月号ですが、いろいろなお知らせが盛り込まれています! EXPOCITYでの活動やエコッキングツアーお楽しみください!

CONTENTS

- 挨拶・・・・・・・・・・1
- 後援団体の報告・・・・・・・・・・2,3
- エコッキングツアー・・・・・・・・・・4,5
- 注冊、そして注目で行われているごとの編纂化・資料集・・・・・・・・・・6
- 議員選挙結果・・・・・・・・・・7

(7) すいた環境教育フェスタ

事業内容

平成29年2月4日（土）、吹田市文化会館（メイシアター）において行われたすいた環境教育フェスタでは、参加すると抽選で保温ボトルが当たる仕組みで、エコ宣言を付箋に書いてもらいツリーに貼りつけて作る「エコ宣言で作るツリー」、エネルギー部会が行った「エコ双六」、資源部会が毎年実施している、マイボトル・マイカップ持参者にお茶のサービスをする「給茶コーナー」の3つの体験コーナーで参加者に楽しんでもらった。また、吹田市内の「マイボトル・マイカップ対応のカフェ」のマップの展示も行った。



(8) ホームページの管理・運営

事業内容

平成28年6月から平成29年5月にかけて、「アジェンダ21 すいた」の活動を広く市民に情報発信した。

(9) 定時総会運営事業

事業内容

平成28年7月9日（土）に定時総会を開催し、動物写真家の小原玲氏による講演会「流氷からの伝言～あざらしの赤ちゃん～と地球温暖化～」及び懇親会を実施した。講演会では、ボロボロになった2007年の流氷の写真を観て、その年に生まれたアザラシの赤ちゃんの約75%は溺死したことを知りました。小原氏は、人間と自然が共生することについてずっと考え続けてほしいと締めくくられ、懇親会では、後藤圭二市長もお見えになった。



3 部会別事業

【エネルギー部会】

1 事業内容

省エネ型ライフスタイルの普及・啓発や、自然エネルギーの利用を促進するための仕組みづくりを進める。

1-1 暮らしのCO₂ダイエット

吹田市独自の環境家計簿を作成・配布し、市民の地球環境に配慮したライフスタイルの普及を図った。

提出者は140世帯であった。

1-2 みどりのカーテンの普及・啓発活動（自然部会との共催）

詳細は【自然部会】に記載。

1-3 エコキャンドル作り（資源部会との共催）

詳細は【資源部会】に記載。

1-4 自然エネルギーの勉強会と水素エネルギーのセミナー

① 下水道における資源・エネルギーの活用の講義の受講

日時：平成28年9月26日（月） 場所：吹田市役所環境部

講師：都市計画部 計画調整室 参事 真壁 賢治氏

受講者：エネルギー部会、環境政策室

② 大阪市平野下水処理場見学

汚泥活用による再生エネルギーの勉強。（汚泥固形燃料化事業）

日時：平成29年1月19日（木）

参加者：市民5名

エネルギー部会5名 計10名

③ 水素エネルギーのセミナーは実施できず。



2 実施評価及び課題

市民向けの暮らしのCO₂ダイエット、毎年参加者が減少している。当面は休止して、吹田市内のエコアクション21 認証取得企業の従業員を対象にCO₂ダイエットを展開する。また、CO₂ダイエット学校版もエネルギー部会で扱うようにする。

緑のカーテン講座は毎年継続して実施しており、子どもたちにもわかりやすく、楽しい説明を心がけている。

エコキャンドル作りは、博物館と万博の住宅展示場で3回実施した。楽しい催しで、子どもたちへの環境学習が実践できた。ただし、公民館での実施はできなかった（来期は実施する予定）。また、再生可能エネルギーの調査は、見学だけでなく実用可能性を追求していく必要がある。今後は、下水汚泥燃料化の勉強会、セミナーを計画する予定である。

【資源部会】

1 事業内容

持続可能な循環型社会をめざすため、使い捨てのライフスタイルを改め、ものを大事にする意識の啓発と、ごみを生まない資源循環の仕組みを形成する。

1-1 ごみの減量・資源化のための啓発

①マイバッグキャンペーン

「すいたレジ袋削減・マイバッグ推進協議会」のメンバーとしてマイバッグキャンペーンに参加した。

○店頭キャンペーン

平成28年10月7日（金）～11月22日（火） 11店舗

○北摂地域共通キャンペーン

北摂7市の“ゆるきゃら”が勢ぞろいし、各市の市民団体とマイバッグキャンペーンを実施した。

平成28年11月23日（水） 平和堂アルプラザ高槻、松坂屋高槻店

1-2 あなたがみつけるエコなお店 in すいた

3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進や、省エネなど環境や人にやさしい取り組みを行っている吹田市内のお店を応援するため、「アジェンダ21 すいた」のニュースレターやホームページで、エコなお店の紹介をした。

○ロハスフェスタ万博2016 SPRING 『ニュースレター』第38号

○洋服の修理屋さん 『ニュースレター』第41号

1-3 市内に給茶ができるスポットを広げる取り組み

すいた環境教育フェスタにおいて、マイボトル・マイカップを持参すると値引き対応してくれるカフェ5社とコンビニ1店の情報をマップにして展示を行い、給茶体験として、マイボトルやマイカップを持参の人に無料でほうじ茶のサービスを行った。

日時：平成29年2月4日（土）

場所：吹田市文化会館（メイシアター）

持参者：60名、リユースカップ利用者：25名

1-4 エコキャンドル作り（エネルギー部会と共催）

家庭から出た廃油の再利用や拠点回収場所への持参をよびかけ、キャンドルイベント等への参加のきっかけとなることを目的に、エコキャンドル作りを実施した。

① 博物館夏季展示

・平成28年7月30日（土）

参加者：小学生（保護者同伴）28名

② ABCハウジング千里住宅公園

・平成28年10月16日（日）

参加者：71名

スタッフ：資源部会4名、エネルギー部会2名

・平成29年1月9日（月・祝）

参加者：44名

スタッフ：資源部会3名、エネルギー部会2名



2 実施評価及び課題

すいたレジ袋削減・マイバッグ推進協議会の一員として、市内スーパーや北摂7市共同の「マイバッグキャンペーン」継続して実施できた。

エコなお店情報は、洋服の修理屋の調査を行い新たなお店の発掘ができた。食品ロス削減に取り組むお店の情報を探していく。

マイボトル・マイカップ推進のマップ作成を通じて、対応カフェが増えていることがわかった。

エコキャンドルは博物館での講座に加えて、千里住宅公園でも2回行う事ができた。これは楽しく気軽に取り組める「廃油リサイクル」の啓発手段であるが、今後は、キャンドルイベントへの参加などへ拡大を図って行きたい。

【自然部会】

1 事業内容

吹田市域において、生物多様性に配慮し、自然を守り育てる活動を展開し、人と自然が共生できる環境づくりを推進する。

また、啓発活動や講習会を通じて、広く市民の環境意識を高めることを目指す。

1-1 生物多様性の啓発

生物多様性について理解を深めてもらうため、テーマを「植物と鳥」とし、「木の実と鳥の観察会」と題した観察会を開催した。講師はNPO法人すいた市民環境会議理事の平軍二さん。暖かな日差しのもとゆっくりと歩き、多くの木と鳥を観察した。最後に空中観察路ソラードに上って万博の森を眺め、木も鳥もそして人間も豊かな自然に守られてひとつにつながっていると実感できた観察会だった。

実施日時：平成28年12月18日（日）10時～12時

場所：万博記念公園 自然文化園

参加者：13名



1-2 みどりのカーテンの普及・啓発活動（エネルギー部会との共催）

平成27年度に実施した「みどりのカーテン講座」の参加者に呼びかけ、「みどりのカーテン写真コンクール」を実施した。

また、ヒートアイランド現象緩和に資するものとして、「みどりのカーテン講座」を実施した。自然部会メンバーが講師となり、ヒートアイランド現象やみどりのカーテンの効果、家庭菜園の楽しさについて講義し、ゴーヤを使ったみどりのカーテン作りの実演を行い、参加者にはゴーヤの苗2株を配布した。

実施日時：平成 29 年 5 月 27 日（土）10 時 30 分～12 時

場所：千里ニュータウンプラザ 多目的ルーム

参加者：25 名

スタッフ：自然部会 3 名、エネルギー部会 5 名



1-3 博物館エコアップ作戦

吹田市立博物館の夏季展示を活用して、昨年に引き続き大階段の上にポタジェガーデン（野菜やハーブと花を一緒に植えて実用と鑑賞の両方を楽しむ庭）を設置し、家庭でできる生物多様性に配慮した菜園づくりの新しい形をアピールした。

実施期間：平成 28 年 7 月 16 日（土）～8 月 24 日（水）

場所：吹田市立博物館

1-4 外来生物に関するリーフレットの作成

平成 23 年度作成の生物多様性を守るための外来植物のリーフレット「生物多様性に配慮した庭づくり」の続きとして、生物多様性の大切さと外来種駆除に焦点をあてた新しいリーフレットを作成することとし神戸大学名誉教授武田義明先生に監修を依頼、原稿を作成している。

2 実施評価及び課題

今年度は、守るべき吹田の自然をテーマとして生物多様性に関するリーフレット作成を主な活動として取り組んだが、原稿作成に時間がかかり完成は次年度へ持ち越しとなった。しかし、リーフレット作成を通して多くのことを学ぶことができた。

年 3 回を予定していた観察会は 1 回の実施にとどまったが、好評であった。

「みどりのカーテン講座」は初めて南千里での開催であったが、市民の参加を得て啓発活動を実施できた。

今後も、テーマに沿って市民にとって具体的でわかりやすく、参加しやすい活動を組み立てる必要がある。その活動推進のために部会メンバーの増員が課題である。

部会事業の参加メンバー

エネルギー部会

岡本榮一、奥田倫子、笹倉俊男、中野政男、馬場慶次郎、福井一彦、三宅勝弘、森田宏、山本修巳、吉田誠

資源部会

伊藤智子、大澤浩子、戸坂篤子、孫田ケイ子、水川晶子、三輪信哉

自然部会

伊藤忠征、喜田久美子、寺西信明、馬場多佳子、藤田和則

(50音順)